

令和7年度 権谷川の河川敷整備

概要:鹿ノ台周辺緑地に接する権谷川河川敷の幼竹刈り・雑草木刈り・常緑樹カシ類の大木伐倒「伐倒・玉切り(裁断)・棚積み」を実施した。

20年間の定期的な草刈り、侵入竹の皆伐、枯損木伐倒、常緑樹「カシ類」伐倒など、権谷川河川敷は遊歩道的に修景され良好な河川景観が形成されてきた。

加えて、上流からのゴミとして河川へ流れてくる空缶・空瓶・PL発泡スチロール類の集積回収を実施した。年々ゴミの量は減る傾向にある。

ジャングル状態の河川環境を脱したことから、イノシシ被害は減少した。特に、今年度は「クマ騒動？」が風潮されたことから念入な作業となった。

流水量調整機能としての砂防堰堤の破損箇所が散見され、台風やゲリラ豪雨による被害が懸念されるところである。

令和7年度権谷川河川敷整備として、記録写真を整理し活動記録として報告します。 令和8年(2026)1月 活動団体:ECOKA委員会(鹿ノ台)



4月～5月の幼竹刈りと雑草木刈り作業



10月度秋口の竹切り作業



所有機材:チェーンソー



12月度の枯損木や間伐作業



集積回収ゴミの分別作業

権谷川の河川敷整備活動

ECOKA委員会 記録:2025年3月



沼地化している「ワンド」の幼竹やヨシを刈払い後の状況

河川敷の立ち枯れ大木の伐倒作業



玉切り(裁断)して集積



河川整備後の不燃ごみ集積回収「街区道路まで運び上げる」

権谷川の河川敷斜面の崩壊状況

概要:京都府精華町と生駒市鹿ノ台地区との境界を流れる権谷川の河川状況についての報告書です。

鹿ノ台住宅地は伊藤忠不動産株式会社が開発し「イトーピア鹿ノ台」として販売されました。

昭和50年代当時は奈良県都市計画課の指導により、関係法令を遵守し奈良県の郊外型大規模開発地区として認可を受け宅地造成されました。

販売から約50年が経過し、生駒市所管の都市施設としてのインフラ設備等は生駒市関係部署にて適切な管理維持をして頂いているところです。

今般、権谷川の河川敷斜面の崩壊状況について崩壊現場を記録写真に納めました。つきましては、斜面崩壊の拡大を防ぐために善処策をお願い申し上げます。



記録:2025年12月16日 ECOKA委員会(鹿ノ台自治連合会)

駐車場フェンス破損事故【復旧工事】

概要: 鹿ノ台いきいきホール駐車場は、開設以来10年が経過した。今回フェンス破損事故が発生、これまでに3回目の事故となった。3年に1回の事故である。

復旧工事に向け、生駒市スポーツ振興課(管理所管)の適切・迅速な対応により早期に復旧することができた。

度重なる物損事故で注意喚起を図るために、今回新たに「！」パネルを市提供で新設した。復旧工事にいたる工事工程を時系列で記録写真に納め関係者への報告書とする。

鹿ノ台いきいきホール運営委員会 2025/10/28 記録



① 9月26日: 駐車の車がフェンスを破り斜面への転落事故発生



② 10月16日: 南側斜面の植栽「モミジ・ヒラドツツジ」の再補植を完了

③ 10月19日: フェンス取り換え・コンクリート基礎など復旧工事を完了



④ 10月22日: フェンスに注意喚起「！」パネル設置を完了

特記: 時系列の動き

- ① 9月26日に前向き駐車の車がフェンスを破り斜面への転落事故が発生
- ② 10月16日南側斜面の植栽「モミジ・ヒラドツツジ」の再補植を完了
- ③ 10月19日フェンス取り換え・コンクリート基礎など復旧工事を完了
- ④ 10月22日フェンスに注意喚起「！」パネル設置を完了
- ⑤ 通常使用へ戻りました

公衆電話BOXの撤去作業の記録報告書

概要:公衆電話の設置基準が令和4年4月1日から施行されたことにより、一般的な公衆電話が撤去されます。公衆電話は携帯電話の普及により利用が減少していることから、

鹿ノ台北ヒューリー開発当時の設置条件である鹿ノ台北2丁目バスロータリー付近の街路樹植樹帯に設置の公衆電話BOXについて、その撤去作業が行われた。

良好な街並み景観の形成を図るために、NTTとの合意により跡地に「ヒラドツツジ」15株を植樹することで、鹿ノ台北中央通りの既存植樹帯との整合性を図った。

現場に立ち会い作業工程を記録に納め、BOX撤去と植栽の記録報告書とする。尚、ヒラドツツジが根づくまで数回の水やりは地元自治会が行う。

鹿ノ台北2丁目自治会会长 山田勲 記録:2025年(令和7年12月1日)(鹿ノ台北自治連合会)



BOX解体（トラック荷台）

植樹着手前



電話BOXのコンクリート基礎撤去跡

配合肥料施肥

真砂土3袋



完成景

令和7年度 緑地及び権谷川への不法投棄ゴミ集積記録

実施団体:ECOKA委員会

概要:鹿ノ台周辺緑地「1号緑地～12号緑地」12haにおいて、身近な明るい里山づくりの環境整備を住民主体で実施している。

緑地へのポイ捨てコンビニ袋、斜面U字側溝の土砂除去中や落葉の下からの空缶、空瓶など、更には権谷川上流から流れてくる肥料PL袋や発砲スチロールかなりのゴミを集積した。空缶、空瓶、PLボトル、陶器、建材、小物家電、金属類などに分別仕分け後、生駒市みどり公園課へ回収連絡を行っている。

令和7年度の鹿ノ台周辺緑地・権谷川河川敷・緑地隣接水路において、不法投棄されたゴミを集積し、その記録を写真に撮り報告書にまとめたものである。整備された緑地は、簡易な管理道を整備し森林観察コースとして、地元小学校の森林環境教育実習フィールドに利活用している。 記録編集:令和8年1月



第2緑地に投棄されていた冷蔵庫、自転車、空き缶を集めました。

4月～8月までの集積ゴミ



河川敷へ流れてくるPLボトルや農業資材PL袋など、分別仕分け作業



U字側溝の清掃・土砂除去や緑地の草刈り作業

9月～12月までの集積ゴミ